

Kurashiki Academic Winds

16th Regular Concert

Message & Profile ■

本日はお寒い中、ご来場いただき誠にありがとうございます。おかげさまで16回目の定期演奏会を迎えることができました。今年は瀬戸大橋架橋20周年ということで、香川県の一般バンドをお招きしての演奏会となります。この企画、実は前回（15回）の定期演奏会の前から動いていました。したがって、ここまでは思惑通りの展開でした。ところが、どこでどうなったのかスペシャルゲストとしてあのMALTAさんをお招きし、しかもTV(全国ネット)で放送されるという思わぬ展開になりました。一体どうなるの？という不安がある反面、これまでにないスケールの演奏会ができるのでは・・・という期待もしています。本日演奏する曲目ですが、いろいろなジャンルの曲を用意しています。この中から1曲でも皆さん的心に響けば幸いです。どうぞ最後までお楽しみ下さい。

実行委員長 朽木 陽一

山崎良綱／指揮

倉敷青陵高等学校、島根大学教育学部 特別教科（音楽）教員養成過程管弦打楽器（ホルン）専攻卒。ホルンを田中昭、新田厚の両氏に師事。編曲法を河添達也氏に師事し、在学中よりプラスアンサンブル・木管アンサンブル・吹奏楽・管弦楽等の編曲活動を行っている。



松田昭宏／香川指揮

1961年香川県善通寺市に生まれる。中学、高校を通じて吹奏楽、管弦楽に親しむ。大阪府立高校勤務を経て87年に香川県に帰郷。90年から母校の香川県立善通寺第一高校に勤務し、昼は世界史教員、放課後は管弦楽部顧問、週末は善一OB吹奏楽団指揮者というシアワセな生活が始まる。96年から98年まで善一OB吹奏楽団を率い吹奏楽コンクール香川県大会に出場、自由曲にはP.Sparke作品を選び続け、3年連続金賞を受賞した。2001年からシンフォニックワインズKAGAWAの常任指揮者を務め、現在に至る。07年より香川県立坂出商業高校教諭、香川県吹奏楽連盟第二事業部理事。



光畠圭子／司会進行

大阪府茨木市出身。岡山芳泉高校、就実女子大学英文学科卒。「リビングおかやま」編集者からOHKテレビレポーターに転身。以降、FM岡山DJ等を経て、現在フリーアナウンサーとして幅広く活躍中。倉敷アカデミックワインズ定期演奏会の司会は、2001年から今年で連続8回目。ますますの充実ぶりが期待される。



第1部	アーセナル Arsenal	ヤン・ヴァン=デル=ロースト Jan Van der Roost
	第2組曲 Second Suite	ロバート・ジェイガー Robert E. Jager
	1. ファンファーレ Fanfare 2. バラード Ballade 3. スケルツォ Scherzo	
	歌劇「トゥーランドット」セレクション TURANDOT Selection for Wind Orchestra	ジャコモ・プッチーニ／後藤 洋 Giacomo Puccini/Yo Goto
第2部 Guest Stage	波の見える風景～吹奏楽のための交響詩 View with a Glimpse of Waves	真島 俊夫 Toshio Mashima
	「リトル・マーメイド」メドレー Little Mermaid Medley	アラン・メンケン／星出 尚志 Alan Menken/Takashi Hoshide
	海の男たちの歌 Song of Sailor and Sea	ロバート・スミス Robert W. Smith
第3部	カーニバルのマーチ March in Carnival	杉本 幸一・小長谷 宗一 Koichi Sugimoto・Soichi Konagaya
	映画「となりのトトロ」より さんぽ～ネコバス～となりのトトロ	久石 譲／山崎 良緒 Joe Hisaishi/Yoshitsugu Yamasaki
	青空 Cielo Azul	MALTA／高山 直也 MALTA/Naoya Takayama
	愛するデューク Sir Duke	スティーヴィー・ワンダー／岩井直溥 Stevie Wonder/Naohiro Iwai
	スウィート・マジック Sweet Magic	MALTA／内堀 勝 MALTA/Masaru Uchibori

Guest's Profile ■

MALTA (SAX)



13歳からサックスを吹き始め、66年より故阪口新氏に師事。73年に東京芸術大学音楽学部器楽科卒業後、バークリー音楽大学に留学。4年の課程を2年半で習得し、1年半同校で教鞭をとる。77年にボストンからニューヨークに進出。デューク・エリントン楽団（マーサー・エリントン指揮）、チャールズ・ミンガス、ジャック・マクダフ等の一流ミュージシャンと共に演後、79年に名門ライオネル・ハンプトン楽団に迎えられ、同バンドのリード・アルト兼コンサートマスターに就任。83年、デビューアルバム「MALTA」を発表。87年にはアルバム「SPARKLING」で第1回日本ゴールド・ディスク大賞に輝く。88年発売の「HIGH PRESSURE」は、全米発売にもなり、大ヒットアルバムとなる。2003年11月に日本デビュー20周年を迎える記念アルバム「HALF MOON STREET」を発表。2004年、初のJAZZアルバム「MANHATTAN IN BLUE」（★Swingjournal選定【ゴールド・ディスク】）を発売。同アルバムの高音質版XRCD24も発売となる。最新作は通算30枚目にして初のLIVEアルバム「LIVE IN

JAPAN-Jazz Up, Back Up, Dress Up,」(MBI-2001)を2006年8月に発売し、自身のバンドをM.J.Q.plus(MALTA JAZZ QUINTETT.plus)とし活動する。現在、雑誌への連載、自叙伝・教則本の出版、バイクチーム（マルタ・ワークススポーツレーシングチーム）の監督として国内外のレースに出場する他、文化教育にも力を注ぎ「全日本高等学校選抜吹奏楽大会」で審査員をつとめ、「マルタ賞」が設立。全国のアマチュア吹奏楽団・ビックバンドと共に演、毎年開催される「Fete de la Musique au Japon 音楽の祭日」にて東京では名誉顧問・大阪では特別顧問となる。2007年4月より大阪芸術大学の客員教授となり、後輩の育成、プロ・アマ問わない音楽発展に尽力するなど精力的な幅広い活動を繰り広げ、そのサックス・プレイには観衆のみならず、一緒に演奏した人たちの心に多くの夢と感動を与え続けている。

<ホームページ <http://www.malta-jazzclub.com>>

本日の演奏会の一部が
NHK-BS2 「響け！みんなの吹奏楽」で放送されます！

「響け！みんなの吹奏楽」について

～ひとつの音色が響くとき、そこには情熱と感動のドラマが生まれます～

いま全国の吹奏楽団は1万4千を超え、演奏人口は100万人に上ると言われています。この番組では、各地で活動する吹奏楽団に、日本を代表するトッププレイヤーを派遣し、一緒に吹奏楽を楽しみながら、練習の成果を発表します。プロならではの指導と、またとないビッグネームとの競演。吹奏楽にかける人々の情熱、技術を磨く努力、そして限界への挑戦を追いかけていきます。この度、倉敷アカデミックウインズは世界的に有名な、サクソフォン奏者のMALTAさんから

「愛するデューク」「Sweet Magic」を楽しく、そして熱くご指導いただきました。この曲が本日演奏されるまでの、団員の苦悩する姿や、難曲にチャレンジしている練習時の表情など、番組でぜひご覧下さい。そして、この番組をきっかけに吹奏楽ファンが、またさらに増えることを、団員一同期待しています！

放送予定

2008年4月

番組ウェブサイト
<http://www.nhk-jn/index.htm>

綾歌吹奏楽団は平成10年4月に発足し、今年でちょうど10年を迎えます。香川県丸亀市綾歌町を拠点とし、音楽を通して地域に貢献できるよう幅広く活動しています。創設当初は少なかった人数も現在では51名という大所帯となりました。常任指揮者である、十川裕史先生、石本隆行先生のご指導の下、楽団としてのレベルアップ

を図っています。昨年で第9回を迎えた定期演奏会も、年々幅広く展開しており、第5回定期演奏会では、香川県出身のプロトランペッター寺島昌夫氏を、また昨年11月に催された第9回定期演奏会では、プロドラマーの阿野次男氏をゲストにお迎えし、団員一同音楽の奥深さを改めて体感することができました。今回、倉敷アカデミックワインズさんと一緒にでき、大変光栄に思っております。



綾歌吹奏楽団

はじめまして。私たち「シンフォニックウインズKAGAWA」は、香川短期大学ウインドアンサンブルを母体に香川県の中讃地区を中心に音楽好きが集まって、2001年4月に結成されたウインドアンサンブルです。

秋に行う定期演奏会の他、イベント演奏や訪問演奏などで、より多くの方に吹奏楽を楽しんで頂けるよう音楽を楽しみながら練習に励んでいます。中編成ではありますが、編成的にはチョット無謀とも思える大曲に毎年挑んでいます。コンクール・バンドではありませんので、良い意味で減点を気にしない、伸び伸びとした演奏を心がけています。



シンフォニックウインズKAGAWA



吹奏楽団WEST

吹奏楽団WESTは、香川県の西部（西讃）の観音寺市と三豊市を中心に、地域に根ざした音楽活動を行っています。訪問演奏会や自主演奏会、ふれあい音楽教室を開催したり、地域の催し物に積極的に参加したりしています。また、市民音楽祭や定期演奏会等を通じ、合唱団や他団体との交流も積極的に行ってています。吹奏楽コンクールには毎年出場しており、四国大会や全国大会に出場したこともあります。（ただし団体名改称前）そしてそれらの活動の集大成（メイン）として、毎年4～5月に定期演奏会を開催しています。

第2組曲

この組曲の第1楽章は、木管群と低音の楽器群の間にもあらわれるコントラストと、中間でのホルンの使い方などのカラーとが強調されています。第2楽章は、短い序章のあとイングリッシュホルンのための抒情的な独奏が続き、これに続くすべての主題は、この独奏の主題から発展しています。スケルツォではカラーとコントラストに加えて、リズムという要素が加わります。リズムが打楽器群によって提示されたあと、ファゴットが主要主題をはじめそのあとユーフォニアムが主題を繰り返しそれからミュートつけたトロンボーンを伴ってホルンによる変奏曲が続きます。コルネットとホルンがこの主題の変奏を奏し、この楽章の第2クライマックスへ・・・。打楽器群によるビルトアップに続き、全楽器による2つの強力な"クラッシュ"（4分音符による2つのコード）のあと輝かしいファンファーレが再現されます。

トゥーランドット

この曲はプッチーニ最後のオペラで、完成させずに他界したので、残りの部分は彼のスケッチなどを参考に弟子のフランコ・アルファーノが完成させ、今日の姿になっています。作品のストーリーは、氷のように冷たい心を持つトゥーランドット姫が求婚者に三つの謎を解くことを求め、出来ない者の首を刎ねてしまいます。その中でダッタンの王子カラフが見事に謎を解き、姫の心を開くと言うものです。最近ではトリノオリエンピックで荒川静香さんがこの曲で演技されたのが記憶に新しいと思います。

「この宮殿の中で」より（第2幕：トゥーランドットのアリア）

愛するデューク

とてもリズミックなメロディが印象的なこのナンバーは、ご存知、某自動車のCMソングとして抜群の知名度を誇る名曲。このCMに使われる以前から、この曲はスティーヴィーの代名詞的な曲として知られていて、特に冒頭のホーンのフレーズは有名で、一度聴いたら忘れられません。スティーヴィーを知らない人も、この曲を知っているという人はかなり多いです。ライブではこの曲が始まると、客席のみんながそろそろ立ち上がり始めます。この"デューク"とは、もちろんジャズ界の大御所、デューク・エリントンのこと。彼のことを讃えた曲ですが、エリントンだけでなく、この曲には、他にもカウント・ベイシーやグレン・ミラー、サッチモ等多くのジャズ界の偉人達の名前が登場します。もちろんこの曲はジャズではないですが、スティーヴィーのジャズ界の偉人達へのリスペクトが歌われています。

Fl.	B.Sax	Eup.
阿部 仁美	山本 祐規子	大坂 直美
出原 啓美	Fg.	坂本 幸洋
大元 幸恵	梶房 聖伸	佐藤 裕史
塩津 恵	八木 好恵	世戸 裕子
田中 裕子	Hrn.	Tuba.
樋口 良子	小宮 留衣子	小田 晃弘
横内 理恵	高谷 麻里子	朽木 陽一
Pic.	田邊 萌陶乃	室山 理
喜多野 智子	常國 真吾	St.Bass
Ob.	中島 蘭	高田 清香
後藤 美香	林 智志	森重 裕美子
安田 悠香	Tp.	Per.
Cla.	池田 譲	亀井 幸恵
安宅 忠司	栗原 修一	日下 朋美
関 文彰	多田 文彦	立住 瞳海
御船 里織	中山 幸治	林 マキ
三宅 宏美	成山 恵子	火口 ひとみ
横山 弓子	福明 加奈恵	山本 祐子
石田 純子 (賛助)	松原 千明	渡辺 麻野
B.Cla	吉井 靖恵	
谷田 由紀	Tb.	
A.Sax.	岡本 国芳	
井上 晃江	兼田 泰恵	
門野 敏之	小牧 崇宏	
仕田原 奈緒美	高倉 奈々	
畠本 麻美	三木 剛	
T.Sax.	立古 恵	
苅田 朋子		
溝手 陽子		

倉敷アカデミックウインズでは新しい仲間を募集中です。吹奏楽の経験がある方！

そしてお酒が好きな方、一緒に音楽を楽しみましょう♪

まずは、一度私たちの練習に遊びにきてください！

Official WEB <http://www.kaw.ne.jp/>
 E-Mail kaw@kaw.ne.jp
 Phone 090-4897-8648 (事務局 佐藤)



Staff

倉敷アカデミックウインズ
実行委員長

朽木 陽一

実行委員

喜多野 智子

世戸 裕子

高倉 奈々

谷田 由紀

中島 蘭

中山 幸治

林 マキ

山本 祐規子

香川組演奏会関係者
指揮

松田 昭宏

綾歌吹奏楽団
事務局長

吉田 佳孝

香川組代表
綾歌吹奏楽団副団長

土岐 浩司

シンフォニックウインズKAGAWA

団長

山内 英世

香川組 書記

尾松 智香

吹奏楽団WEST
代表

神原 誠二

涉外

堀家 悠士

照明

オールライツ

印刷

ササベ印刷株式会社

プログラムデザイン

林 里香